

努力に不可能なし!

第 10 号

2014年9月18日

学年主任 岡本 秀一

☆学年主任より☆

「思いがけず……、涙が……」

今回は、最後の鶴嶺祭の様子を特集しています。紙面にもありますが、文化部の活動をはじめとして、あらゆる場所で3年生の活躍があったように思います。本来なら、3年は“お客さん”的な立場で楽しむ文化祭なのですが、うちの学年の子どもたちは、自分たちが楽しむことを忘れなかったようです…。大きな高校時代のイベントも、これが最後という感じになるのかな!?とは思っています。

我々教員団も、修学旅行の夜に「来年の鶴嶺祭では、もっとクオリティの高いものを見せるからね」と約束!? した手前、一生懸命に子どもたちが喜んでくれるよう頑張ったつもりです。私も、思いがけず誕生日を祝っていただくことになって、ビックリするやら感動するやらで大変でした……。でも47年間で、一番の思い出となるハッピーバースデーとなりました。プレゼントするつもりが、子どもたちからプレゼントしていただいたので、ここからの半年を精一杯やっつけていこうと、さらに気持ちを強く出来たように思います。ご来場いただいた保護者の皆様には深く感謝いたしております。

学年主任 岡本 秀一

最後の鶴嶺祭。 やり残したことはないかい?



今年の鶴嶺祭も、3年生がしっかりと盛り上げました!
4組の名MCトリオ、書道部の迫力のパフォーマンス、音楽選択者迫真の演技のミュージカルと演奏、Perfumeも顔負けのダンス、華麗な家庭部ファッションショー、诗情溢れる吟詠、合唱部の優しいハーモニー、そして3学年団の驚愕のパフォーマンスと感涙のバースデーソング…。体育館を熱気で包んだバンド、静寂のお茶席、躍動的な新体操部演舞、3年生が圧倒的だったイントロクイズ…。

他にも委員会や部活動の展示など、どこの会場にも3年生の活躍がありました。

♪「かけがえのない時間を胸に刻み込んだかい」♪



☆今後の日程☆ 各行事の詳細や変更はHR等で説明します。毎月の行事予定表も配付されています。

9月	20・21日 (土)・(日)	進研マーク模試	10月	3日(金)	鍛錬遠足
	27日(土)	土曜講座		7日(火)	演劇鑑賞(午後)
	29日(月)	9月分学年取扱金納入期限		10日(金)	前期終了日
※鍛錬遠足健康調査後の面談実施中です。				11日(土)	オープンキャンパス
※私立大学を中心に各種受験手続きを実施しています。準備は確実に早めに。				12・13日 (日)・(月)	全統記述模試
				14日(火)	振替休業(10/11分)



鶴嶺祭では、多くの文化部所属の3年生が3年間の部活動の成果を披露しました。これまでの活動のことや最後の発表について、代表者にインタビューしました。どうぞ！

各部代表の言葉 Part3

美術部 木村今日子さん 「ありがとうございました」

自分の進路の事を考え、吹奏楽部から美術部へと変わりました。部活動の作品制作と受験準備の実技を一緒にこなしていかなければならない中で、修学旅行のしおりの表紙などの作画を依頼されることが嬉しく、それを自信に繋げてきました。3年間、鶴嶺祭でデザイン等描かせていただきありがとうございました。

*「幸せ2014」の鶴嶺島のイラストの作者です。

書道部 関屋 美穂さん「感謝」

鶴嶺祭を終えて引退した今、寂しさはありますが、何よりここまで支えてくれた部員や先生、そして両親への感謝の気持ちで一杯です。受験までの数ヶ月間、その気持ちを忘れずに頑張っています。



茶道部 佐藤 未来さん「部活という存在」

私にとって部活動は、「癒やしのひととき」でした。週に一度という少ない時間の中で、茶道部の皆と仲良く楽しく過ごすことができたので、幸せで掛け替えのないものとなりました。



家庭部 阿部 青葉さん 「部活を終えて」

鶴嶺祭1日目のファッションショーは皆さんの温かい声援のお陰で最高の思い出になりました。ありがとうございました。これからの生活は、悔いを残さないよう過ごしていきたいと思います。



語学部 古屋 知夏さん「反省と抱負」

2年間のESSでの活動を通して様々な経験をし自分自身少しは成長できたと思います。これから受験などで苦しいこともあると思いますが学んできたことを活かして頑張っていきたいです。



科学部 佐藤 宏紀さん「けじめ」

3年間の科学部での大きな活動である、この文化祭をもって引退となりました。これで3年生全員は受験だけを目標に据えることができるようになったと思います。後悔せぬように全力を尽くします。



文芸部 井上沙久綾さん 「文芸について」

私は意識して国語を勉強したことがなかったので、部の活動が勉強になっていると思います。文章を書くことは誰にでもできる事です。だから、何を伝えるかが大切だと思って書いています。



合唱部 糸永 栄喜さん「退職」

元々は意に沿わない形での入部から始まったものでしたが、鶴嶺祭も含め、たくさんの良い思い出ができた1年半でした。それを終えた今、これまでの負債をなくすよう頑張ろうと思います。

